

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【公開番号】特開2009-85507(P2009-85507A)

【公開日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-255766(P2007-255766)

【国際特許分類】

F 2 5 B 15/00 (2006.01)

【F I】

F 2 5 B 15/00 3 0 6 N

F 2 5 B 15/00 3 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月10日 (2010.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

図 6 は、高負荷運転時での制御ラインの詳細を示すグラフ、図 7 は低負荷運転時での制御ラインの詳細を示すグラフであり、稀液ポンプ 6 はこれら図 6、図 7 に示すような演算結果によりその運転周波数が最低周波数 F_{min} から最大周波数 F_{max} まで制御されるものとなっている。例えば前記冷却水入口温度が高い場合は、下方の制御ラインとなり、低い場合は上方の制御ラインを選択する（現実の制御例としては、最下方の制御ラインは冷却水入口温度が例えば 32 の場合で、最上方の制御ラインは冷却水入口温度が例えば 22 の場合である）。